

くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。



日本共産党の竹田えつ子です こんにちはニュース 議会報告

No.82 2020年4月第4週

新型コロナ対策 声を上げ続けていきたいと思います！！

命の危険を感じながら最前線で頑張っている 医療関係者をはじめ、多くの皆さんに感謝です

一律10万給付＝国民の声で動かした補
正予算の組み換え

一律10万円給付について

閣議決定されました。補正
予算成立後、申請を受け付
け、早い自治体では5月中
の支給をめざすと報道され
ています。自民党と公明党
がいったん閣議決定したも
のを世論の力でひっくり返
したことは画期的なことと
思っています。

1日も早い損失補償を！
お客さんが1人も来ない日もある

竹田えつ子は電話でのコ

ンタ生活相談、地元商店の

方々からお話を伺いました。
「外出自粛・営業時間の短
縮で売り上げが8割も減り
ました。テイクアウトを始
めました」「卒業式の自粛
・入学式の延期で記念撮影
がなくなり仕事は全くあり
ません」「大会・イベント
の中止、部活の休止や公共
施設の休館でスポーツがで
きず、1人もお客さんが来
ない日があります」「自粛
で新聞折り込みが減りまし
た」など様々な事業所で影

響が出ています。
埼玉県では、中小企業支
援金30万円を上限に1事業
所20万円の制度を作ること
を発表しました。4月末の
臨時県議会での補正予算成
立後、詳細について発表予
定です。政府は、1兆円の
交付金を休業要請した場合
の協力金などに活用できる
としています。市民の実態
がわかる身近な市政だから
こそ、いま小回りの利く損
失補償制度をつくることが
求められるのではないでし
ょうか？

「困っています」お声かけください
一緒に市に相談にいきましょう！

5月は、自動車税・固
定資産税、その後住民税
・国民健康保険税・介護
保険料（65歳以上）、国
民年金の納付など待った
なしの状況が待ち受けて
います。

にいきましよう。黙って
いたら、滞納とみなされ、
納付期限後1ヶ月を過ぎ
ると納付額×2・6%、
2ヶ月以上になると納付
額の8・9%の延滞金も
加算されます。

新型コロナウイルスで収入
が減った場合、1人で悩
んでいないでお声かけく
ださい。一緒に市に相談

「困っています」と声を
上げて、いのちと暮らし
を守っていきましょう！

妊婦さん用マスク＝鴻巣市は独自に
購入した不織布のマスクを配付

アベノマスクは疑問だ

などに配付しています。

らげです。政府は、この
布マスクを優先的に、妊
婦さん・福祉施設などに
自治体を通じて配付して
います。鴻巣市は、3月
議会で補正予算を組み、
商工会員のつながりを通
じて15万枚の不織布マス
ク（660万円）を購入し
ました。そして4月10日、
妊婦さん（1人50枚）、
医師会・歯科医師会（6
200枚）、医療的ケア児
の保護者（800枚）福祉
施設（5万5100枚）

国の妊婦さん用布マス
クは、汚れている、髪
毛が入っていたなどの問
題が多発しています。布
マスクが鴻巣市にも1次
分として届いたそうです
が、必要数がない為まだ
配付していません。そ
うです。1袋ずつ汚れていな
いかチェックしているそ
うです。（お疲れ様です）

新型コロナウイルス問題
ご意見・ご要望お
寄せください

